

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 8月 6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100256		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホーム ふれあい戸坂		
所在地	〒732-0014 広島県広島市東区戸坂大上3丁目2-30 (電話) 082-229-2822		
自己評価作成日	令和3年5月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100256-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年7月30日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域の人々との関わり合いを大切にし、入居者様の日々の生活を通して身体状況の把握、居心地の良い場所「その人らしい」生活が送れるようにスタッフ全員で情報を周知し支援している。ご家族様への連絡、報告も速やかに行っており、情報を共有し家族様の希望に添えるよう支援している。また体調不良等見られた際には、適切な連絡、報告を行い医療と連携しスムーズに対応ができています。事業所新聞を年3回発行し町内掲示板（9か所）に掲示し日々の活動を皆様にご覧いただくよう自事業所の情報発信をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人理念や生活づくり10ヶ条を基に、利用者・家族が安心して生活して頂く為に事業所年間目標を作成し、全員が周知し実践している。職員も努力目標を立て、達成に向けて日々業務の中で一人ひとりの思いに寄り添い、笑顔が見える支援に取り組んでいる。法人内に研修制度を整え、研修部の介護技術研修等に参加し、個々に習得しスキル向上に活かしている。コロナ禍の中で、地域に事業所新聞の発信や家族には担当者による状況報告など、職員の提案・アイデアが増え、まずは実行する事で職員の意欲に繋がっている。健康面に関しても、適切な医療が受けられるよう、医療との連携体制も整えている。看取りの事例もあり、チームで利用者・家族の思いに寄り添う支援を実践している。

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念が実践出来るように 事業所で年間の目標を立て達成出来るようにしている。また「生活作り10ヶ条」を柱に 日々利用者様の「その人らしい生活」本人が望まれる生活に添えるように実践している。	利用者に寄り添う自立への支援「生活づくり10ヶ条」を掲げ、朝礼にて意識づけしている。個人の意思を尊重した生活を過ごして頂く為に、事業所目標を立て実践に取り組んでいる。又、職員も目標シートを活用し、半年ごとの達成度の確認や利用者にはカンファレンスを開催検討し、一人ひとりに合わせた介護の提供を実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的な交流としては、ホーム周辺を散歩する際、挨拶を交わすなど近隣住民とコミュニケーションを持つように努めている。また、地域で行われる夏祭りやとんど等に利用者様と一緒に参加したり、グループホームで開くそうめん流しでは、地域の方に参加して頂き交流を深めている。	例年は地域行事や恒例の地域合同行事（そうめん流し）の参加、ボランティアの受け入れ等地域との交流があったが、コロナ禍で中止となる等困難な中、事業所新聞の回覧や地域掲示板に掲示する等地域との交流を深める取り組みをしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	定期的にグループホームが発行している新聞を回覧板で回したり地域の看板に提示して取り組みや情報を発信している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容に対する意見交換を実施している。また家族様等から多くの意見を頂き、積極的に日常のサービスや施設の設備の改善に反映するように努めている。	運営推進会議は定期的開催されていたが、新型コロナウイルス感染症予防の為、電話や書面上の情報共有で代替している。地域包括支援センターや地域住民代表者に電話確認にて報告、意見を求めている、また、議事録に記載し、関係者に送付している。貴重な意見が反映、活かせるよう努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議などで施設での状況を話したり情報交換を行っている、また地域の回覧等で情報を得て地域の行事など参加するように努めている。災害等の応援を踏まえて合同の避難訓練を検討している。	運営推進会議の開催は中止となり、電話や書面上の情報共有で代替している。地域包括支援センターからは講習会の案内や認知症について、地域いきいき体操などの開催情報があり、新型コロナウイルス感染症予防対策の中で協力関係が築けるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内外の身体拘束に関する研修に参加する事で理解を深めると共に、事業所においては、委員会を設置し、2カ月に1回職員と共に日々のケアについて話し合い身体拘束防止に努めている。	身体拘束委員会の開催や身体拘束をしないケアについて法人内外の研修に参加し正しく理解し、知識を高めている。事業所の課題としてスピーチロック、言葉による拘束を重視し、カンファレンスを開催し、職員全員が共通の意識づけをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人内外の虐待防止に関する研修に参加する事で理解を深めると共に、事業所においては、委員会を設置し、2カ月に1回職員と共に日々のケアについて話し合い、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修に参加することで知識を深め、資料の回覧および配布により、各職員が周知出来るように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書および契約書を提示し、具体的に説明するように努めている。ご利用者及びご家族等からの不安や疑問点等は、可能な限り不安等を解消して頂けるように適切な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年に3回家族会を開催（開設よりの実績は現在1回）家族様の意見を伺う機会を設けると共に、普段より面会等で来られた際に、意見等あれば都度対応している。	コロナ禍により、面会が制限される中、PCタブレット端末を使用したテレビ電話や窓越し面会、月2回の担当職員が利用者の近況報告をする等、意見・要望の把握に努めている。その中で、仕事・役割として季節の野菜作り、水やり、草取り、お菓子作り等出来る事を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、全体会議やリーダー会議等会議を開き、意見交換の機会を確保している。	業務や会議を通じて意見交換の場を設けている。行事への提案や研修参加等、日常の業務の中から意見が言いやすい、聞いてもらえる環境作りがなされている。例えば、外出自粛の中で、職員の提案により事業所内で出来る行事が増えてきている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務考課表や職務チェックリストによる個々の職員の評価制度を設け、年に2回実施し昇給等に反映している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎年の筆記試験を実施し各職員の介護知識及び技術の把握を行っている。また、定期的に内部研修を実施し介護技術の向上に努めている。外部研修については、研修補助費を利用できる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	現在コロナウイルス感染予防として開催出来てないが、町が主催する協議会への出席や、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等に出向き、情報交換により、連携を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回面接時には、ご本人とのコミュニケーションを重点に置いている。サービスを利用するにあたっての心情や意向等をお聴きするように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用開始前から、積極的にサービスに対する思いや不安や要望等を細かく伺い、ご本人やご家族との信頼関係を構築出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談や電話にての相談時には、ご本人やご家族等に今必要な支援を把握し、ご本人にあったサービス利用の提供を支援出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	一方的なお世話をするという関係ではなく、自立支援を念頭において「共に行う」という意識の下、支援を行っている。また、日常生活の中では家事等を一緒に行ったりしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様来所時には、気軽に情報交換が出来、日頃の様子等もお伝えしながら、家族様から要望等を気軽に話して頂けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナウイルス感染予防の為直接接は出来ないが、感染対策をした上で随時面会を受け入れている。	一人ひとりの生活歴を把握し、又、日常的な会話の中から知り得た情報を書きとめ、演劇の好きな方、写真が趣味の方等、今まで継続してこられた、人や場との関係性が途切れる事のないよう支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関係性を配慮した席順にすることや、職員が間に入り、利用者様同士での声の掛け合い、助け合いの関係づくりの為、遊びリレーションや体操や歌会等を通して関係づくりを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族が近所の方については、通りすがりに挨拶や、近況報告を受けたりといった交流がある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いなどを会話等の中で把握できるように努めている。また家族様からも入居前の様子等希望を確認し、把握に努めている。	ライフシートを活用し、生活歴を把握している。利用開始時に知り得なかった希望や意向を日々の業務の中から受け止め、利用者の希望に寄り添う支援に努めている。把握の困難な利用者には、言葉に出来ない表情や仕草を受け止め、実践に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人様や家族様からの聞き取りにより生活リズムや嗜好に関すること等に把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタルチェックを行っている。また、身体、心身の状態も観察し、現状の把握に努めている。必要事項は生活状況記録に記録し、情報共有している。		

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月一回モニタリングを行い、家族様から意見や意向等を伺い、家族様の意見を反映しつつ職員で見直し、検討を行っている。また、体調の急激な変化等あった場合は随時見直しを行っている。	申し送りノートや担当職員による日々の様子を把握、毎月のモニタリングを行い、計画作成者に気づき等提案、家族の意向の反映や職員間でカンファレンスを開き、体調変化等も考慮し、見直し検討をし、現状に即した介護計画書を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活状況記録表に記録し、さらに気をつけたい点等を申し送りノートに記入し、全職員で情報を共有している。	/	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	医師や看護師と連携し、必要に応じて支援しているが、検討の余地あり。	/	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	周辺の医療、消防、警察との連携を図り、安全で快適な暮らしが出来るように努めている。検討の余地有り。	/	
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医はご本人やご家族の希望を第一に治療方針等を決定し、スムーズな受診が出来るように家族様と情報交換を行っている。	利用開始時、本人・家族に主治医の希望を聞いている。事業所主治医の月2回の往診や歯科・皮膚科の往診も可能である。又、月2回の訪問看護師による体調管理や専門医受診時には事業所対応で行われ受診後の情報共有がなされ、スムーズに適切な医療体制を整えている。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	法人内外の訪問看護師が随時訪問し、状態観察を行っている。また、治療やケアの助言や指導を適宜行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	当事業所は医療法人グループの一員であり、退院時の医療機関との協働が行えている。また、近隣の入院応需の病院とも医療連携の書面を交わしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期ケアについては「看取りに関する指針」の記載内容に基づき、体制は整っている。	利用開始時「重度化における対応に係る指針」を説明して意向を確認している。職員は終末期ケア研修を通じて知識を高め、状態変化が生ずる都度家族に意向の確認をしている。看取り期は医療連携を図りながら、利用者・家族の思いや気持ちに寄り添う支援をチームで実践している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	法人内研修等で緊急時の対応等を学ぶ機会を設けている。実践力においては、経験の浅い職員もいる為、今度もっと取り組む必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	現在年に二回の避難訓練を実施している。地域防災についても今後課題である。	年2回避難訓練をしている。夜間想定をした訓練や消防署員立ち合い、指導の下、実際に職員・利用者が消火器を使用しての消火訓練、避難誘導等で防災の知識を高めた。法人内での応援体制もある。今後は地域との協力体制が築けるよう努める考えである。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	全職員が心掛けているつもりだが、言葉かけにおいて、馴れ合いになっている現状がある。プライバシーにおいても利用者様の排泄状況等他利用者様の前で行っているときがある。改善すべき点である。	一人ひとりの人格を尊重し、法人内の接遇についての研修や居室に入る前のクックやトイレ時の羞恥心に配慮が出来ているか等日々の業務の中で意識づくりに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	全職員が心掛けているつもりだが、時に介護者本位になっていることもある。今後もっと自己決定が尊重できるように協議していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のスケジュールにケアを合わせるのではなく、その日の利用者様の状況や状態や希望に沿ったケアが出来るように柔軟な対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に本人様の好みの衣類や、前から好んで着ていた衣類等を持ってきて頂いている。また化粧をされる習慣がある利用者様には化粧をして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事については毎食メニューが決まっている為盛り付け、配膳、下膳、片づけ等出来る範囲で一緒に行う事あり。またお料理クラブを開催して一緒に料理等を作ったものを皆で頂いている。	裏庭の畑に季節の野菜を植え、水やりから育てた野菜を収穫し、献立の彩りに添えたり、個々に合わせた器や食事形態を変えてみる等食事が進むよう工夫している。盛り付け、配膳、下膳等の手伝いや料理クラブによるお菓子作り、ロング巻きずし作りが開催され、楽しみに繋がる支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	利用者様が以前から好まれた飲み物等を持って来て頂く等して水分量を確保している。また、ふりかけやおにぎりにする等個人の希望に合わせて食事が進むような工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを実施している。訪問歯科の受診が必要な方は、その都度受診して頂き、歯科医師より指導を受けている。また、口腔ケアに係る技術的助言及び指導記録を使用し、技術面等を学んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレで気持ちよく排泄して頂けるように、利用者様個々にあった排泄介助を検討し、支援を行っている。	一人ひとりの排泄チェック表を確認し、利用者の仕草や動作で言葉かけにも配慮した誘導を行い、水分量や運動量、食事にも工夫が見られ、トイレでの排泄支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	適切な水分摂取、適度な運動、食材への配慮を日々心掛けて、自然排便が出るように留意している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	可能な限り、ご利用者様の要望を聴くように努めている。個々人のその日の体調を見ながら、優先的に入って頂くようにしている。また、ハード面の工夫を行い、負担なく入浴して頂けるように配慮している。	利用者の体調や要望を踏まえ週2~3回入浴支援をしている。入浴介助技術研修等で学んだ個々に応じた入浴方法で支援をしている。又、時には季節のゆず湯や自分で衣類を選んで頂く等、入浴を楽しむ支援を実践している。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	その日の体調に応じていつでも休息出来るように配慮している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	各利用者様の服薬リストは、全職員がいつでも確認できる場所に保管している。症状の変化等が見られた場合には、速やかに医師や看護師に連絡を行っている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	洗濯、ごみ捨て、花の水やり、畑仕事等手伝って頂いている。可能な限り戸外に出る事を心掛け、気分転換をしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	日々の散歩やドライブ等本人の希望を伺い、その日の体調等を考慮しながらお誘いしている。	日々の散歩や花の水やり、畑仕事、玄関外のおやつタイム等、気分転換になり楽しむ機会を設けている。コロナ禍で面会制限があり、家族との触れ合う機会が少ない中で、感染対策も考慮して家族も参加できる夏祭りを企画している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	基本的に個人のお金は預かっていないが、本人様が望まれる購入物で希望に沿うものがあれば、家族様に相談した上で「個人立替」という形で対応している。		

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の取り次ぎや、手紙を書いて頂く事を日常的に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>室内に、温度・湿度計を設置し管理している。快適に過ごして頂けるように環境づくりを行っている。リビングや玄関等には季節の花を飾ったり、装飾を行い季節感を出すように工夫している。</p>	<p>リビングは掃除が行き届き、温度・湿度管理も整備され、明るく心地よく過ごせる工夫がなされている。壁面には行事の写真や手作りの作品が展示され、季節感が漂う雰囲気作りがしてあり、テーブルを囲んでの体操や歌を唄う等、利用者同志が和やかに生活出来る配慮がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用スペースにはテレビがあり、食卓用の椅子に加えてソファがあり、その時々に合わせて過ごしやすい場所で過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居の際には本人様の使いなれた家具等を持ってきて頂いている。可能な限りご自宅に近い環境にすることで居心地よく過ごせるように配慮している。</p>	<p>利用開始時に本人・家族に説明を行い、自宅で使い慣れた物、馴染みの品物を持参している。趣味の手作りの作品や使い慣れた調度品に囲まれて、居心地よく寛いで生活出来る部屋作りがなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室の位置が分かるように、目線の高さに合わせたり、大きく看板や目印をつけている。</p>		

V アウトカム項目(I) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念が実践出来るように 事業所で年間の目標を立て達成出来るようにしている。また「生活作り10ヶ条」を柱に 日々利用者様の「その人らしい生活」本人が望まれる生活に添えるように実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的な交流としては、ホーム周辺を散歩する際、挨拶を交わすなど近隣住民とコミュニケーションを持つように努めている。また、地域で行われる夏祭りやとんど等に利用者様と一緒に参加したり、グループホームで開くそうめん流しでは、地域の方に参加して頂き交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	定期的にグループホームが発行している新聞を回覧板で回したり地域の看板に提示して取り組みや情報を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で評価結果を報告し、その無いように対する意見交換を実施している。また家族様等から多くの意見を頂き、積極的に日常のサービスや施設の設備の改善に反映するように努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議などで施設での状況を話したり情報交換を行っている、また地域の回覧等で情報を得て地域の行事など参加するように努めている。災害等の応援を踏まえて合同の避難訓練を検討している。		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内外の身体拘束に関する研修に参加する事で理解を深めると共に、事業所においては、委員会を設置し、2カ月に1回職員と共に日々のケアについて話し合い身体拘束防止に努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人内外の虐待防止に関する研修に参加する事で理解を深めると共に、事業所においては、委員会を設置し、2カ月に1回職員と共に日々のケアについて話し合い、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修に参加することで智識を深め、資料の回覧および配布により、各職員が周知出来るように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書および契約書を提示し、具体的に説明するように努めている。ご利用者及びご家族等からの不安や疑問点等は、可能な限り不安等を解消して頂けるように適切な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年に3回家族会を開催（開設よりの実績は現在1回）家族様の意見を伺う機会を設けると共に、普段より面会等で来られた際に、意見等あれば都度対応している。		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、全体会議やリーダー会議等会議を開き、意見交換の機会を確保している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務考課表や職務チェックリストによる個々の職員の評価制度を設け、年に2回実施し昇給等に反映している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎年の筆記試験を実施し各職員の介護知識及び技術の把握を行っている。また、定期的に内部研修を実施し介護技術の向上に努めている。外部研修については、研修補助費を利用できる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	現在コロナウイルス感染予防として開催出来てないが、町が主催する協議会への出席や、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等に出向き、情報交換により、連携を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回面接時には、ご本人とのコミュニケーションを重点に置いている。サービスを利用するにあたっての心情や意向等をお聴きするように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用開始前から、積極的にサービスに対する思いや不安や要望等を細かく伺い、ご本人やご家族との信頼関係を構築出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談や電話にての相談時には、ご本人やご家族等に今必要な支援を把握し、ご本人にあったサービス利用の提供を支援出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	一方的なお世話をするという関係ではなく、自立支援を念頭において「共に行う」という意識の下、支援を行っている。また、日常生活の中では家事等を一緒に行ったりしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様来所時には、気軽に情報交換が出来、日頃の様子等もお伝えしながら、家族様から要望等を気軽に話して頂けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナウイルス感染予防の為直接接は出来ないが、感染対策をした上で随時面会を受け入れている。		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関係性を配慮した席順にすることや、職員が間に入り、利用者様同士での声の掛け合い、助け合いの関係づくりの為、遊びリレーションや体操や歌会等を通して関係づくりを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族が近所の方については、通りすがりに挨拶や、近況報告を受けたりといった交流がある。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いなどを会話等の中で把握できるように努めている。また家族様からも入居前の様子等希望を確認し、把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人様や家族様からの聞き取りにより生活リズムや嗜好に関する事等に把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタルチェックを行っている。また、身体、心身の状態も観察し、現状の把握に努めている。必要事項は生活状況記録に記録し、情報共有している。		

自己評価	外部評価	項目(Ⅱ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月一回モニタリングを行い、家族様から意見や意向等を伺い、家族様の意見を反映しつつ職員で見直し、検討を行っている。また、体調の急激な変化等あった場合は随時見直しを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活状況記録表に記録し、さらに気をつけたい点等を申し送りノートに記入し、全職員で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>医師や看護師と連携し、必要に応じて支援しているが、検討の余地あり。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>周辺の医療、消防、警察との連携を図り、安全で快適な暮らしが出来るように努めている。検討の余地有り。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医はご本人やご家族の希望を第一に治療方針等を決定し、スムーズな受診が出来るように家族様と情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	法人内外の訪問看護師が随時訪問し、状態観察を行っている。また、治療やケアの助言や指導を適宜行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	当事業所は医療法人グループの一員であり、退院時の医療機関との協働が行えている。また、近隣の入院応需の病院とも医療連携の書面を交わしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期ケアについては「看取りに関する指針」の記載内容に基づき、体制は整っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	法人内研修等で緊急時の対応等を学ぶ機会を設けている。実践力においては、経験の浅い職員もいる為、今度もっと取り組む必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	現在年に二回の避難訓練を実施している。地域防災についても今後課題である。		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	全職員が心掛けているつもりだが、言葉かけにおいて、馴れ合いになっている現状がある。プライバシーにおいても利用者様の排泄状況等他利用者様の前で行っているときがある。改善すべき点である。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	全職員が心掛けているつもりだが、時に介護者本位になっていることもある。今後もっと自己決定が尊重できるように協議していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のスケジュールにケアを合わせるのではなく、その日の利用者様の状況や状態や希望に沿ったケアが出来るように柔軟な対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に本人様の好みの衣類や、前から好んで着ていた衣類等を持ってきて頂いている。また化粧をされる習慣がある利用者様には化粧をして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事については毎食メニューが決まっている為盛り付け、配膳、下膳、片づけ等出来る範囲で一緒に行う事あり。またお料理クラブを開催して一緒に料理等を作ったものを皆で頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>利用者様が以前から好まれた飲み物等を持って来て頂く等して水分量を確保している。また、ふりかけやおにぎりにする等個人の希望に合わせて食事が進むような工夫をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを実施している。訪問歯科の受診が必要な方は、その都度受診して頂き、歯科医師より指導を受けている。また、口腔ケアに係る技術的助言及び指導記録を使用し、技術面等を学んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレで気持ちよく排泄して頂けるように、利用者様個々にあった排泄介助を検討し、支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>適切な水分摂取、適度な運動、食材への配慮を日々心掛けて、自然排便が出るように留意している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り、ご利用者様の要望を聴くように努めている。個々人のその日の体調を見ながら、優先的に入浴して頂くようにしている。また、ハード面の工夫を行い、負担なく入浴して頂けるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	その日の体調に応じていつでも休息出来るように配慮している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	各利用者様の服薬リストは、全職員がいつでも確認できる場所に保管している。症状の変化等が見られた場合には、速やかに医師や看護師に連絡を行っている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	洗濯、ごみ捨て、花の水やり、畑仕事等手伝って頂いている。可能な限り戸外に出る事を心掛け、気分転換をしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	日々の散歩やドライブ等本人の希望を伺い、その日の体調等を考慮しながらお誘いしている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	基本的に個人のお金は預かっていないが、本人様が望まれる購入物で希望に沿うものがあれば、家族様に相談した上で「個人立替」という形で対応している。		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の取り次ぎや、手紙を書いて頂く事を日常的に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>室内に、温度・湿度計を設置し管理している。快適に過ごして頂けるように環境づくりを行っている。リビングや玄関等には季節の花を飾ったり、装飾を行い季節感を出すように工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用スペースにはテレビがあり、食卓用の椅子に加えてソファがあり、その時々に合わせて過ごしやすい場所で過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居の際には本人様の使いなれた家具等を持ってきて頂いている。可能な限りご自宅に近い環境にすることで居心地よく過ごせるように配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室の位置が分かるように、目線の高さに合わせたり、大きく看板や目印をつけている。</p>		

V アウトカム項目(II) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい戸坂

作成日 R3年9月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	新たな運営推進会議の参加者を増やしていない。	参加メンバーが増える。地域との交流が増えている。	新型コロナウイルスによる規制が落ち着いたら 地域との交流に力を入れたい。町内の行事の参加 認知症サポーター養成講座等積極的に参加する。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。